

まず、車椅子使用者について正確な統計は取られていないものの、「身体障害者」の数については統計があり、平成30年の内閣府のデータでは約436万人となっています。70歳以上に限ると253万6千人となりますが、それでも**70歳未満の身体障害者が180万人以上**いることは特記しておきます。この中のどれほどが車椅子を利用しているかはわかりませんが、車椅子は身体障害者にとっての貴重な移動手段です。

https://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/h30hakusho/zenbun/siryo_02.html

また、平成28年の厚労省のデータでは、「障害者になっても以前と同様に生活を送りたい」と回答する割合が最多（65歳未満で72%、65歳以上で85%）を占めています。

https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/seikatsu_chousa_c_h28.pdf

この願望は、恐らく時代とともに変化していくものではないと思います。

ここで車椅子の販売台数ですが、ひと月に約2万台というペースになっています。買い替えを含めたとしても、新たに車椅子が必要になった人もこの数の中に含まれているかと思えます。

<https://jp.gdfreak.com/public/detail/jp010140004150135006/5>

これらは、「外出の比較的多い若年層でも身体障害者が多く、そして障害者であっても外出したくなくなるわけではないということを示しているかと思えます。

また、多機能トイレの設置数自体についても「不足している」と訴える方は多く、多機能トイレの設置が施設利用の優先度を上げると回答した車椅子使用者は約80%に上ります。さらに、多機能トイレの機能が十分でないと回答する方は、車椅子利用者だけでなく子連れの方にも多いです。

<http://www.mlit.go.jp/common/000209820.pdf>

なので、多機能トイレの機能を充実させることが設置する施設側の利益に繋がることを示し、こうしたニーズがあることを知っていただいた上で、貴社に商品開発していただけないか、お願いしたい次第でございます。

赤ちゃん連れの皆様が、快適に過ごせるように...という貴社のブランドコンセプト、大変感動致しました。収納機能なんてなくても、ひとりひとりが気をつけて収納すればいい、そう思われることかもしれません。

それでも私は、赤ちゃんを連れた皆様が気兼ねなく利用でき、かつ車椅子利用者も困ることなく使えるような多機能トイレ空間になるように、壁面施工式のオムツ替え台に収納機能を付けていただきたく思います。

最後までお目通しくださりありがとうございます。
どうかご一考のほど、宜しくお願い致します。